

資料4-1

参考資料

社会還元加速プロジェクト

平成20年5月15日

社会還元加速プロジェクトについて

社会還元加速プロジェクトについて

問題点

要素技術としては確立されつつあるが、それらの技術を国民が享受できていない。

異分野技術融合、官民協力・府省融合、システム改革、技術の社会システムとしての実証研究(5年以内に開始)を通して、**成果の社会還元を加速**。
総合科学技術会議が主体となって、平成20年度からプロジェクトを開始。

社会還元加速プロジェクト

生涯健康な社会

1. 人体機能を再生する医療

安全・安心な社会

2. 災害情報通信システム
3. 安全で効率的な道路交通システム (ITS)

多様な人生を送れる社会

4. 先進的な在宅医療・介護

世界的課題解決に貢献する社会

5. バイオマス資源の総合利活用

世界に開かれた社会

6. 音声翻訳コミュニケーション技術

社会還元加速プロジェクトについて

【社会還元加速プロジェクト予算】(計154億円)

- | | |
|---|------|
| 1. 人体機能を再生する医療
(文科、厚労、経産) | 45億円 |
| 2. 災害情報通信システム
(内府、総務、文科、国交) | 30億円 |
| 3. 安全で効率的な道路交通システム(ITS)
(内官、警察、総務、経産、国交) | 15億円 |
| 4. 先進的な在宅医療・介護
(厚労、経産等) | 10億円 |
| 5. バイオマス資源の総合利活用
(総務、農水、経産、国交、環境) | 44億円 |
| 6. 音声翻訳コミュニケーション技術
(総務、経産等) | 10億円 |